KAEDE TSUSHIN 15

楓通信.15

日光湯元ビジターセンター
奥日光の情報誌　NO.15
1998. 6. 30
年6回発行／一部50円
年間購読会費　1000円
（送料込）

年間購読のお申し込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、郵便振替にて自然公園美化管理財団あてに会費をご送金ください。

振替NO. 00370－3－7232

環境庁　日光湯元ビジターセンター
〒321-1662 栃木県日光市湯元　TEL: 0288-62-2321　FAX: 0288-62-2378

自　然　情　報

野鳥

今年はホトトギスの渡来が遅く、数も少ないようです。５／３にツツドリ、５／１０頃カッコウ、５／下旬にホトトギスを確認しました。これでほぼ夏鳥がそろいました。

昆虫

エゾハルゼミ　５／３より鳴き始めました。
いつもより１ヶ月早い出現です。

アキアカネ　気の早いのは６月中旬から見られるかも？

アサギマダラ　ヨツバヒヨドリによくとまっているので、花の時期に合わせて出現？７月下旬には湯元スキー場で見られるのでは…

シラネアオイ

日光白根山に多いことから“白根葵”の名が付いた花ですが、最近のシカ食害の影響で数が激減。今ではシカよけの電気柵の中にかろうじてその姿を見られる程度です。

６／１１に白根に行ったところ、五色山付近の柵の中で約１５０株が花をつけていました。数は去年より多いようです。でも、双眼鏡を持っていかなかったら、そんなには見つからなかったのかもしれません…

鳥のヒナを拾わないで!

今年もビジターセンターにムクドリのヒナが届けられました。地面に落ちていて、うまく飛べない、ということでした。

でも、人間が野鳥のヒナを育てることはとても難しく、その後自然の中で生きていく術を教えることもできません。

ヒナを見つけたら、その近くに必ず親鳥がいるはずですから、その場を離れて親鳥に任せましょう。人間がヒナの近くにいると、かえって親鳥は近寄れなくなってしまいます。

タンポポ

タンポポ。どのタンポポを見ても、みんなセイヨウタンポポ。でも、湯元だったら、まだ日本のタンポポがあるんじゃないかな？そんなことを思いつつ、湯元から湯滝方面の清掃パトロールに出ました。国道の両側にはタンポポの花が今を盛りと咲いています。しかし、どの花も、総包が開いたセイヨウタンポポばかり。あきらめかけた頃、道ばたの石垣の上の方に、タンポポを見つけました。よくまあ、こんな所まで、と思いながら何の気なしに総包を見ると、なんと、それこそ堅く閉じられた、というのがぴったりの日本タンポポでした。なぜか(?)その周りには、あれほどあったセイヨウタンポポがひとつもありません。そこはあまり陽があたらないようです。全部で１５株ほどの日本タンポポがそれこそ石垣にへばりつくように咲いています。まるで、セイヨウタンポポに道ばたから追われ、そこに避難しているようでした。セイヨウタンポポと比べると、全体的にほっそりして小さめで、葉の付け根が濃い小豆色をしているのが特徴です。弱そうな日本のタンポポですが、こうして、石垣の上まで移動し、生きる場所を見つけたようで、あんがい、「弱いは強い」のかな？と思いました。

（５／２３　福田）

花ごよみ

今年は全体的に花が早いようです。例年５月下旬に咲く湯ノ湖のアズマシャクナゲは５月上旬に、６月中旬頃見頃になるズミは、なんと５月下旬には満開になりました。

ガイドブック（や楓通信）に載る開花予想は、あくまで予想です。時期は天候などによってずれるのが普通ですから、お目当ての花がある時はこまめに現地へ問い合わせてみて下さい。

と言い訳したところで、夏の開花予想。

ノアザミ	６／下～８／上	湯元、戦場
ノリウツギ	６／下～８／上	湯元
ホザキシモツケ	７／上～８／上	戦場、小田代
ハクサンシャクナゲ	７／上～７／中	白根、男体
ヤナギラン	７／中～８／上	湯元
マルバダケブキ	７／中～８／中	千手、白根

湯ノ平湿原にモリアオガエル?

６月１０日過ぎ、湯ノ平湿原から「ココココ…」とにぎやかな声が聞こえてきます。卵塊（卵）もありました。もしや、モリアオガエル？緑色の肌に褐色の斑点。樹上性で繁殖期と幼生期以外は水に入りません。

スキー場はお花畑

６月下旬、フランスギク（帰化植物）が咲き始めました。アヤメやネバリノギラン、シロバナノヘビイチゴも咲いています。　もうすぐノアザミが咲くことでしょう。

夜の森のお話

夕方、事務所の窓を開けていると、湯ノ湖方面からアカハラの「ｷｮﾛﾝｷｮﾛﾝﾂｰ」や、ホトトギスの「ﾄｯｷｮｷｮｶｷｮｸ、ﾄｯｷｮｷｮｶｷｮ」と鳴いているのが聞こえる。

夕陽が外山の稜線へ沈むと、湯元はスキー場から徐々に暮れて行く。

夜、どこからか「ｷｮｷｮｷｮｷｮ…」とヨタカが鳴きだした。雨の降る日でもそうでない日でも聞こえてくる。

戦場ヶ原で時々夜空を見上げる。満点の星空の時は、ただ通り過ぎるだけではもったいない。車を止めエンジンを切り、じっと夜に溶けるのを待つ。すると、遠くの森で「ﾄｯｷｮｷｮｶｷｮｸ、ﾄｯｷｮｷｮｶｷｮｸ」「ﾎｯﾎ、ｺﾞﾛｽｹﾎｯﾎｰ」。夜の森が心を開く。

「ｼﾞｭｷﾞｬｳｽﾞｳ…、ｸﾞｼﾞｭｳｼﾞｭｳﾋﾞｬｰｸ…」と何やら奇怪な声が聞こえる。オオジシギだ。彼らはとても気まま、鳴き始めたと思ったら、ぴたーっと鳴きやんでしまった。

車で林内を走り抜ける。ライトの光で暗闇が浮かび上がる。シカだ！立派な角を持ったオスジカ。こちらをにらむように立ちはだかる。身ぶるいするほど荘厳な姿。しかし、最近ではそんな立派なシカにお目にかかれなくなった。

上空を何かが横切る。ムササビだ。夕方から彼らは活発に動き回る。木から木へ滑空し、エサを探している。

闇を照らすライトの光は時々、獲物を狙うフクロウをも浮かび上がらせる（ただ、休んでいただけかな？）。大きな翼が羽ばたいているのに、羽音は空気に飲み込まれいくように彼らは移動して行く。

人工の光の少ない戦場ヶ原では、流星群がよく見える。

そこにいつもある自然。けれど、その自然は常に変化している。四季や天候、時間によって。夜の森は不思議がいっぱい、おもしろさもいっぱい。でも、森へ入る前に一言、ここから先は彼らの世界。マナーやルールを守ることは、人（ホモ　サピエンス）としての約束事。　（下里）

日光の催し

7／12（日）　**WALK IN NIKKO**〔奥日光〕
【問合せ先：東京事務局 03-3847-2750　日光事務局 0288-50-1171】

7／19（日）　**奥日光夏の自然観察会**〔小田代原〕
【問合せ先：環境庁事務所 0288-54-1076】

7／31（金）～8／7（金）　**男体山登拝祭**〔中禅寺・二荒山神社〕
３１日は二荒山神社境内で深山踊りの後、一斉に登り始めます。

8／ 8（土）　**薬師堂法楽**〔湯元温泉寺〕

8／ 7（金）　**日光わらく踊り**〔古河電工 日光事業所（清滝）〕【0288-54-0567】
夜７時から１０時まで踊り。その後は大抽選会があります。

8／22（土）23（日）　**薪能**〔三仏堂〕【問合せ先：輪王寺 0288-54-0531】
延年の舞、能を奉納。入場券は７／１より輪王寺事務所等で販売。

8／23（日）28（金）31（月）9／ 3（木）　**奥日光森のコンサート**【問合せ先：日光湯元レストハウス 0288-62-2156】
２３日はレストハウス横の広場にてアルプホルン（夕方・夜）、２８日は釜屋旅館にて弦楽アンサンブル、３１日は休暇村にてフルート、９月３日は小西ホテルにて歌の予定です。（８／２８・３１・９／３は１９：００～２０：００）無料です。

8／ 1（土）　湯ノ湖夏祭り大会（つり）【全国内水面漁業協同組合会 0288-55-0702】

キャンプ場

湯元キャンプ村　５～１０月下旬頃
７・８月以外は要問合せ
【湯元ロッヂ 0288-62-2532】

戦場ヶ原キャンプ場　７／１８～　８／２
【0288-55-0165】

光徳キャンプ場　７／６～９／２９
【真岡市公民館 0285-82-7151】

菖蒲ヶ浜キャンプ場　５／１～１０／２５
【0288-55-0227】

千手ヶ浜キャンプ場　７／１０～８／３１
【中禅寺湖機船 0288-55-0360】

＊阿世潟キャンプ場は、今シーズンは未定です。

交通

低公害バス
季節運行になる日もありますので、事前にご確認下さい。
休日は早朝バスも運行されます。

中禅寺遊覧船
７／１０から８／３１の間、大尻－菖蒲ヶ浜－千手ヶ浜が運航されます。

ニュース

✦ 現在行われている工事の終了予定は次の通りです。工事中は通行止めにはなりません。
- 湯元園地・道路　～８月末
- 切刈湖コース歩道　～７月末
- 戦場ヶ原歩道　～７月上旬
- 小田代原柵　未定
（シカよけの柵です）

✦ 日光パークボランティアでは、今年も花の苗の植栽を行いました。
植付場所：赤沼、湯元スキー場
植付種：ノアザミ、アヤメ、ヤナギラン

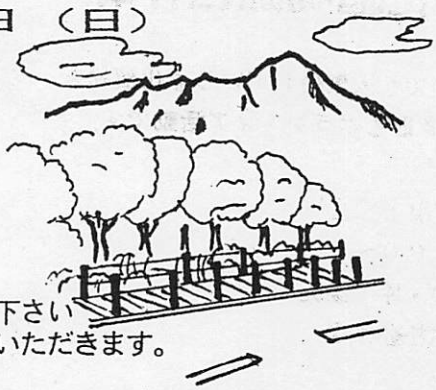
✦ 光徳のキャンプ場が、今年から真岡市営に。真岡市民以外の方も利用できます。

奥日光クリーンハイキング

奥日光の戦場ヶ原で、楽しくハイキングをしながらゴミ拾いをしてみませんか。時期は戦場ヶ原のハイシーズンの８月。ゴミ拾いの道具などは必要ありません。いつものハイキングみたいに気軽に参加してください。

主　催　　栃木県立日光自然博物館
財団法人自然公園美化管理財団
日光パークボランティア活動運営協議会

日　時　　平成１０年８月２日（日）



集　合　　三本松駐車場（戦場ヶ原国道道筋）
午前９時３０分

募集人数　　６０名

参加費　　無料

日　程　　次の３コースの内どれか一つをお選び下さい
※場合によっては、振り分けさせていただきます。

A．戦場ケ原コース	B．小田代原コース	C．湯滝コース
三本松駐車場	三本松駐車場	三本松駐車場
↓	↓	↓
光徳入口	赤沼茶屋	光徳入口
↓	↓	↓
泉門池（昼食）	小田代原展望台（昼食）	湯滝（昼食）
↓	↓	↓
赤沼茶屋着	光徳入口着	光徳入口着
午後２時30分解散予定約６km	午後３時30分解散予定約９km	午後２時30分解散予定約６km

その他　　○小雨決行です。（当日朝６時３０分より催行の問い合わせを受け付けます）
○場合により、コースを変更する場合があります。
○昼食、雨具などは各自でご持参下さい。
○清掃に必要な道具は、こちらで用意します。
○歩きやすい靴と服装でお越しください。

締め切り　　７月１７日（金）の消印有効

申込方法　　参加希望の方は、往復ハガキに、①お名前、②住所、③電話番号、④年齢、⑤性別、⑥希望のコース、⑦この催しをどこで知ったか、を明記のうえ日光自然博物館自然観察会係りあてお送り下さい。

申込先　　〒321-1661　栃木県日光市中宮祠２４８０－１
栃木県立日光自然博物館自然観察会係

お問い合わせ　　日光自然博物館自然観察会　TEL０２８８－５５－０８８０
日光湯元ビジターセンター　TEL０２８８－６２－２３２１

日光湯元ビジターセンター 夏休みの催し

オオハンゴンソウ等 帰化植物除去作戦

奥日光でも大繁殖している帰化植物を
抜き取るボランティア活動です

日にち 8／22（土）
時　間 9：00～12：00
場　所 戦場ヶ原、湯元
集　合 三本松駐車場
参加費 無料
定　員 150名
雨天時 小雨決行
その他 お申込は日光自然博物館まで
詳細は要項参照またはビジターセンターへ

奥日光 クリーンハイキング

毎月第1日曜日のゴミ拾い兼ハイキングです
8月は自然博物館と共催
3班に分かれて行います

日にち 8／2（日）
時　間 9：30～15：30
場　所 戦場ヶ原・小田代原・湯滝方面
集　合 三本松駐車場
参加費 無料
定　員 60名
雨天時 小雨決行
その他 予約が必要です
お申込は日光自然博物館まで
詳細は要項参照またはビジターセンターへ

滝たんけん

滝員のため 締め切り

西ノ湖の奥のカクレ滝まで
道草を食いながら行きましょう

日にち 7／26（日）
時　間 9：00～16：00
場　所 千手ヶ浜～西ノ湖～カクレ滝
集　合 中禅寺湖畔 菖蒲ヶ浜遊覧船乗り場
参加費 500円（船代、バス代は別途）
定　員 20名（小学4年生以上）
雨天時 小雨決行
その他 予約が必要

夕方湯元散策

湯元の自然や歴史を
ゆっくり見てまわります

日にち 7月の土曜日と
8月の日曜以外の毎日
時　間 16：00～17：00
場　所 湯元温泉内
集　合 湯元ビジターセンター
参加費 無料
雨天時 中止
その他 予約は必要ありません
当日カウンターにお申し込み下さい

早朝湯元散策

気持ちのいい朝の湯元温泉を
スタッフがご案内します

日にち 7月の毎週日曜日と
8月の毎週日・水・金曜日
時　間 6：30～7：30
場　所 湯元温泉内
集　合 湯元ビジターセンター前
参加費 無料
雨天時 中止
その他 予約は必要ありません

スライドのタベ

奥日光の自然を
スタッフがわかりやすくお話しします

日にち 8月の23／28／31以外の毎日
時　間 19：30～20：00
場　所 湯元ビジターセンター
参加費 無料
その他 予約は必要ありません

開館中は随時オートスライドを上映いたします
職員までお気軽に声をかけて下さい

7／20～8／31の開館時間の変更
開館時間　8：30～18：00
スライドのタベの時間は開館します
休館日　なし

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1 休館日	2	3	4 夕方
5 早朝 クリーン	6	7	8 休館日	9	10	11 夕方
12 早朝	13	14	15 休館日	16	17	18 夕方
19 早朝	20	21	22	23	24	25 夕方
26 早朝 滝たんけん	27	28	29	30	31	

8月

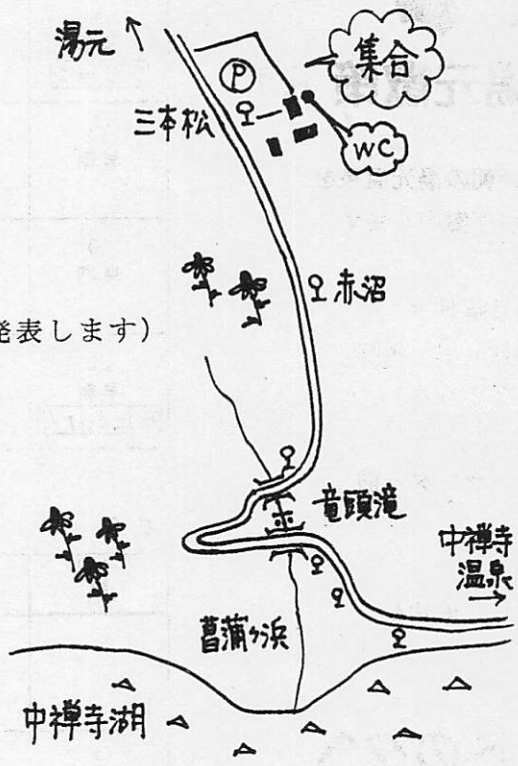
日	月	火	水	木	金	土
						1 夕方 スライド
2 クリーン 早朝 スライド	3 夕方 スライド	4 夕方 スライド	5 早朝 夕方 スライド	6 夕方 スライド	7 早朝 夕方 スライド	8 夕方 スライド
9 早朝 スライド	10 夕方 スライド	11 夕方 スライド	12 早朝 夕方 スライド	13 夕方 スライド	14 早朝 夕方 スライド	15 夕方 スライド
16 早朝 スライド	17 夕方 スライド	18 夕方 スライド	19 早朝 夕方 スライド	20 夕方 スライド	21 早朝 夕方 スライド	22 除去 夕方 スライド
23 早朝	24 夕方 スライド	25 夕方 スライド	26 早朝 夕方 スライド	27 夕方 スライド	28 早朝 夕方	29 夕方 スライド
30 早朝 スライド	31 夕方					

NIKKO NATIONAL PARK
環境庁 日光湯元ビジターセンター
NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER
〒321-16 栃木県日光市湯元
TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

Since 1994

オオハンゴンソウ等
帰化植物除去作戦

オオハンゴンソウは、奥日光の至るところに見られる代表的な帰化植物です。
（外国から人為的に持ち込まれ、自然に繁殖した植物を帰化植物といいます）
もとの植生を保護するため、皆さんのご協力をお願いいたします。



主　　催　栃木県
（財）自然公園美化管理財団　（予定）

日　　時　平成１０年８月２２日（土）

集合場所　三本松駐車場（戦場ヶ原国道沿い）

実施場所　戦場ヶ原・湯元周辺（実施場所は当日発表します）

スケジュール
９：００　集合・開会（三本松）
９：３０　作業開始
１２：００　作業終了
　　閉会（三本松）
１２：３０　解散

参加費　無料

募集人数　１５０名

持ち物　コップ、飲み物、雨具（手グワ・軍手などの作業用具はこちらで準備します）
服　装：作業しやすい汚れても良いもの
　　長靴、又は汚れても良い靴

申込方法　往復ハガキに、①お名前、②住所、③電話番号、④年齢、⑤性別、⑥参加の交通機関（ＪＲ日光駅及び東武日光駅の送迎バス、又は自家用車で直接）、⑦この催しをどこで知ったか、を明記の上日光自然博物館自然観察会係り宛お送り下さい。
申込先　〒321-1661　栃木県日光市中宮祠２４８０－１
栃木県立日光自然博物館自然観察会係
TEL　0288-55-0880

その他　小雨決行です。不明の場合は６：３０以降にビジターセンターか自然博物館にお問い合わせ下さい。

NIKKO NATIONAL PARK NIKKO YUMOTO VISITOR CENTER
環境庁　日光湯元ビジターセンター
〒321-16 栃木県日光市湯元 TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

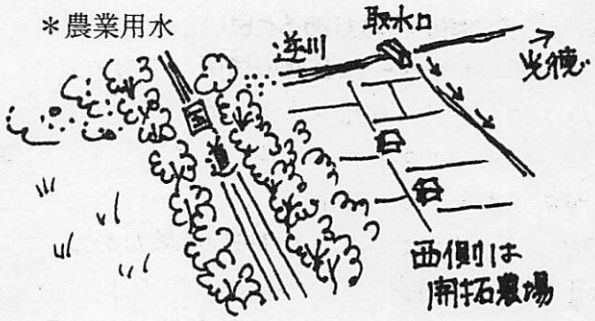
みんなで考えよう！

④ 戦場ヶ原の乾燥化 Ⅱ

湿地→乾地という過程は、自然の流れだということを前回お話ししました。
戦場ヶ原の北東部には沢から運ばれてきた土砂が堆積し、それが乾燥化の最大の原因になっています。
しかし、それ以外にも人為的な原因があり、乾燥の速度を速めています。
どんなものがあるのでしょうか？

＊植林とそのための排水溝

＊農業用水



＊立ち入り

という訳で、戦場ヶ原は自然の状態よりも早いスピードで乾燥してきています。
その後、どんな対策が…？

昔の話聞いた話

その２、御所湯の話（教えてくれた人：釜屋旅館の小林資夫さん）

板屋旅館の隣に建っている古い壊れた建物に気付いた方はいるでしょうか？御所（将軍）が入りに来た、ということから名付けられた御所湯です（でも本当は鎌倉公方だった…）。今の建物は大正時代に建てられたのではないかと言われています。

小林さんが小さかった頃（昭和の初め）は、この他にも鶴湯、河原湯、自在湯という共同浴場があり、近所の芸者さんなども使っていました。夏にイトコが遊びに来るとみんなで入りに行き、湯船で遊んでおぼれたこともあったそうです。湯船は２つありますが、片方の湯船は底からお湯が湧いていて、何だか気持ち悪かったなあ、と話していました。終戦後、戦争に行っていた人たちが帰ってきて、しばらくは地元の青年会が入浴料を取って管理していた時代がありました。男女別になったのはその頃からで、それまでは混浴で、カギもなければ外からも丸見えだったそうです。

その後中禅寺にお湯を引く目的でボーリングが行われ、古い源泉のお湯が激減。釜屋旅館の内ブロが、ついに小さな家族風呂一つになってしまった時もあったそうです。御所湯もやはりお湯がなくなってきて、昭和２０年代の終わり頃には、何となく使われなくなってしまいました。

小林さんは、御所湯を何とか復元したいと考えています。男女混浴の足湯で並んで腰掛けるのもいい感じだし、湯元の民俗資料館もできたらなあ…と夢はふくらみますが、お湯があるか？資金が調達できるか？というのがとりあえずの問題です。若い人をメンバーにして計画を進めていきたい、と話していました。

アンケートにご協力
ありがとうございました！

前回に引き続きアンケート結果の報告です。
今回はビジターセンター（以下ＶＣ）についてですが、たくさんあるので、まずは一部をご紹介します。

・湯元近辺の宿の情報があると良い

ビジターセンターは公共の機関なので宿のあっせんはできませんが、日帰り入浴情報やガイドブックなどの資料があります。宿泊に関しては、近くに旅館案内所がありますのでご利用下さい。

・フィールドを歩いていない人が多い印象がある

・新しい情報が重要

忙しい時など、外へ出る回数が減ってしまうことがありました。情報提供はＶＣのかなり重要なポイントなので、新しい情報を提供できるよう、なるべく外へ出て情報収集するよう努力します。

・クマ情報がほしい（一人で歩くので心配）

ツキノワグマは、ニンゲンが住む前から普通に生息しています。だから、クマ出没注意というのは本当はちょっとおかしいし、大げさに言うとどこにいても不思議ではありません。ただ、クマもニンゲンには会いたくないので、普通はむこうから避けてくれるはず。ＶＣの職員もめったに会ったことがありません。人気のないところへ行くときや夜歩くときなどは、鈴等をつけて歩きましょう。

・山の道具や奥白根登山史の展示がほしい

・奥日光の動物のジオラマがほしい

ジオラマはとてもお金がかかるので、ＶＣではちょっと難しいかも…

・奥の広場を子供の遊び場にして、木工教室や観察会を行っては

いいアイデアですね！今のところお弁当を食べている方が多いよう。どんなことができるか考えてみます。

・入ったときに笑顔で声をかけられるとほっとする

忙しいときなどでもそうできるようがんばります。
皆さんも気軽に声をかけてくださいね。

・定点写真とはどんなもの？

別枠で紹介。

・冬の閉館を12月からに繰り上げて、1月中旬から開館してほしい

できるだけ利用者の皆さんの便利なようにしていきたいと思います。環境庁と相談してみます。

イベント報告

鳥・自然ウォッチング

５／２３（土）・２４（日）曇りのち雨
参加者２１名：講師　百武　充

鳥を中心としたイベントは、今年で第５回目を迎え毎回思考をこらして実施しています。今回は初めて「夜の鳥」にもスポットをあて、観察をしました。夜の森は観察が難しく、思うようにはいきませんでしたが、シカの声や、フクロウの声がほんの少しだけ聞こえました。

次の日の観察は、戦場ヶ原。ズミの花がちょうど見頃。柳の種子（柳絮：りゅうじょ）がふわふわ飛び、ズミの花の甘い匂いに包まれ、周囲に野鳥のさえずりを聞きながら戦場ヶ原を歩きました。

上空にハイタカを見つけたり、みんなでホオアカやアオジを双眼鏡、フィールドスコープで観察。途中で雨に降られてしまったので、やむなく湯元に場所を変更しました。

今年は、例年よりも自然の流れが速く、樹木の葉がすでにおい茂り、野鳥の姿を探しにくくしてしまいました。そして、天候にも恵まれず…。雨に降られるとなかなか野鳥にはお目にかかれません。

今年は、少し心残りな観察会でした。でも、来年もめげずに野鳥のイベントを催したいと思います。講師・百武先生の、野鳥を通しての自然の見方や考え方に直接触れてみては？ぜひこの機会にご参加下さい。お待ちしています！　（下里）

田母沢の御用邸前 環境庁から

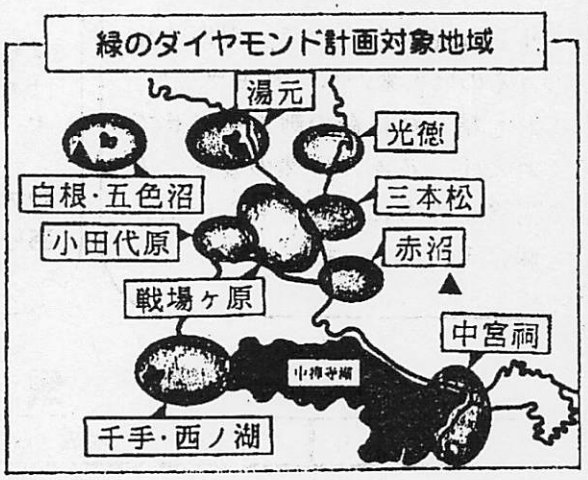
緑のダイヤモンド計画　～「てくてく歩こう奥日光」～

環境庁と栃木県では、日光国立公園の奥日光地域の自然環境の保全と適正な公園利用のための施設整備などを目的とした「日光国立公園奥日光地域総合整備事業（緑のダイヤモンド計画）」を進めています。

この計画は、自然と人との共生を図るために、自然環境の保全・修復を図りながら、自然とのふれあいの場の整備を行うもので、奥日光地域（約８，７００ ha）に９つの地区を設定し、それぞれの地区の特性や課題に応じた事業を予定しています。

主な事業としては、次のものを計画しており、平成７年から整備を進めています。

①白根山・五色沼地区のシラネアオイ等の高山植物の保全（防鹿柵の設置）
②戦場ヶ原地区や小田代原地区の湿原・草原植生の保全（木道の再整備、防鹿柵の設置等）
③三本松地区の自然体験フィールドの整備
④中宮祠地区における湖畔園地、駐車場などの整備
⑤湯元地区における園地などの整備
⑥各地区を結ぶ歩道ネットワークの整備



緑のダイヤモンド計画では、施設の整備を行うだけでなく、公園利用に際しての情報の提供、自然とのふれあい活動や自然環境の保全活動への参加プログラムの提供等ソフト面の充実も図ることとしています。

地元の方、ボランティアの方を始めとして、奥日光を愛する方々の積極的な参加と協力をお願いします。

＊緑のダイヤモンド計画についてのお問い合わせは
環境庁北関東地区国立公園・野生生物事務所まで。（0288-54-1076）

ひとことノートより

98／5／16
妻と2人で来ました。2人で旅行するのは今回が最後になると思います。7月5日に子供が生まれるためです。
私は初めて日光（奥日光）に来ましたが、すごくいいところで気に入りました。この自然を7月に生まれてくる子供にも見せてあげたいと思います。
〔埼玉県浦和市　速水さん〕

この頃こんな幸せそうな内容がとても多いみたいです。皆さんおめでとうございます！ぜひ家族そろって遊びに来てくださいね！

98／5／23
今年初めての湯ノ湖の釣りだというのに、午前中は1回もあたりがなかった。これもリラックスの中のストレスと言うんだろうか。マキエをしている人を見ておどろいた。どうしてもっと自覚しないんだろうか。
さて午後はどうなることやら。
〔浅草　原田さん〕

まき餌、よせ餌は禁止されています。釣れなくても（？）気持ちよく釣りができる環境があるといいですよね。

一冊の本

「ぼくの自然図鑑」
絵と文：長谷川哲雄

「クロアリ宅急便」「食痕を推理する」「キイチゴの季節」など、目次を見るだけでもおもしろそうな、とてもきれいな画文集。名前を調べるための図鑑ではありません。もっと楽しく自然を知りたい方は、ぜひ読んでみて下さい。
ＶＣで販売中。

日光パークボランティア

日光パークボランティア ウィークデー活動チームでは、５月～１０月の毎週木曜日（月末は土曜日）に、戦場ヶ原と湯ノ湖の開花調査をしています。今咲いている花、咲きそうな花、目立つ実を探して、赤沼バス停のあずま屋の掲示板と湯元ビジターセンターにそれらの花の写真を貼り出しています。日光にお越しの際はのぞいて見て下さい。

小さな花が多いので、現地で見つけるのは大変かもしれませんが、どれも精一杯に命の輝きを見せてくれます。花々の自然の姿を一人でも多くの方に知ってもらいたいと願い活動しています。

ビジターセンターからのお願い

スーパーなどのいらない袋がたまっていましたら、ご寄付下さい。清掃活動に利用させていただきます。

ビジターセンターでは、湯元・三本松展望台・小田代原・西ノ湖の４カ所に定点撮影ポイントを設け、皆さんから写真を送っていただいています。（同じ場所で時期の違う写真が撮れ、自然の変化を見ることができます。）

奥日光にいらっしゃった際にはご協力お願いいたします！

今年も８／３～８／９にクリーンキャンペーンを行います。最終日の９日（日）には、ゴミ持ち帰りのＰＲのため行進などを行う予定です。詳細はまだ未定ですが、手伝っていただける方を募集しています（９日のみ）。ビジターセンターまで御連絡下さい。

タオル・事務用品などたくさんのご寄付をいただきましたありがとうございます。大切に使わせていただきます！

気　候

	月	中宮祠	戦場ヶ原	湯　元	男体山頂
平均気温	7	17．0	16．9	16．8	11．2
（℃）	8	18．1	17．8	17．8	12．8
降 水 量	7	269．4	117．3	194	256．0
（mm）	8	499．7	310．5	228	310．0

日の出入り

7／20	
出	4：37
入	18：56
8／19	
出	5：01
入	18：27

（宇都宮）

自然公園美化管理財団

スタッフ紹介

⑩下里千穂（しもざと ちほ）
ビジターセンター班

下里さんは、テンプラにソースをかけて「どえりゃー、うまいがね！」と言って食べる名古屋人です。故郷を遠く離れ、日光で猫と共に住んでいます（ノラだけど）。ヴァイオリンも購入し練習中？（通販だけど）

地元民の私がついつい見落としてしまう日光の自然の素晴らしさが、彼女の手に掛かると魔法のようにキラキラ輝いて、お客さんの前に提示されます。彼女の人柄が表れた優しい語り口のガイド、必見です。当センターのイベントに参加すれば味わえます。あっ、あと下里さんは♨温泉♨に凝ってま～す。彼女へのファンレターには、お近くの温泉情報を添えてね！ニャー♥（ネコ語でヨロシク♥）

（文責：星野）

楓通信やビジターセンターに関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。お気軽にビジターセンターまで。

次号発行予定は

８月上旬